

Nagoya University Medical Museum
Small Exhibit 19th



ミニ展示会

明治～昭和初期の

名大医学部生



2018 12. 4 TUE - 2019 4. 30 TUE

平日 9:00-20:00 1月7日、2月20日-3月9日は9:00-17:00
土 13:00-17:00 2月20日-3月9日の土曜日は休館日
休館日 日・祝日・年末年始は休館

入場無料

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館
名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2505

特別講演会 羽賀祥二 (名古屋大学名誉教授)

2019年4月16日(火)14:00-15:30予定 (名古屋大学医学部基礎研究棟 1階会議室1)
(タイトル未定) * 詳細が決まり次第、医学部分館HP等でお知らせします

ミニ展示会

明治～昭和初期の名大医学部生は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵している近代医学黎明期の史料の中から、明治～昭和初期の名古屋大学医学部(前身校を含む)の学生の講義ノートや学生証、カリキュラム、卒業アルバム、写真等を展示公開します。明治維新以降、日本の医学界では、伝統医学とされてきた漢方医学を抑え、西洋医学を本流として、教育制度が整備されていきました。明治～昭和初期の日本は、度重なる戦争や大恐慌、濃尾地震等の大災害があり、まさに激動の時代でした。名古屋大学にとっても、洋医学校の発足から帝大医学部へ紆余曲折を経ながら発展していった時期にあたります。このような中で、名古屋大学医学部の先輩達が、どのように学生生活を送り医学を修めていたか、史料から垣間見える様子から想像してみてはいかがでしょうか。

また展示期間中に、特別講演会(後日 HP 等で詳細発表)も開催予定です。ぜひご来場ください。



名古屋大学医学部史料室は、附属図書館医学部分館の4階にあります。

医学部史料室では、名古屋大学の源流である明治4年の名古屋県仮医学校設立前後の史料を中心とし、東海地方の医学の歴史的発展過程、さらに広く医学・医療史に関係する古医書、歴史的医療器具、古写真、絵画等を所蔵しています。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。



近代医学の黎明デジタルアーカイブ

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>



資料ご寄贈のお願い

みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。